

Corporate Profile



Our Mission

「明日のエネルギーを開発し、社会に貢献します」

MOECOは2019年に創業50周年を迎えました。

1969年に三井グループの石油開発会社として産声をあげて以来半世紀の間、タイ沖天然ガス開発を中心に石油・ガスの探鉱・開発・生産に取り組み続け、数々の困難を乗り越えながら、人々の暮らしを支えるエネルギー供給をおこなってきました。

第二の創業期である次の半世紀を迎え、エネルギーに求められるものは急速に変化しています。我々は、三井物産グループのエネルギー開発を担う中核企業として、アジア域での石油・天然ガス開発に加え、地熱発電事業の拡大やグローバルな事業展開を通じ、変化しつづける社会に貢献していきます。

Mission, Vision, Values (MVV)

Mission

明日のエネルギーを開発し持続可能な社会の実現に貢献します

Vision

E&Pと地熱開発のプロフェッショナルとして新たなビジネスを創造します

Values

Move quickly,
be **O**pen,
Enthusiastically
Challenge with
Ownership

Corporate Information

会社概要

資本金	331億33百万円
売上高	995億92百万円(2021年3月期)
従業員数	167名(2021年3月31日現在)

取締役・監査役

代表取締役社長	瀨本 浩孝
取締役	春日 毅
取締役	中溝 正典
取締役(非常勤)	丸山 泰央
監査役(非常勤)	山本 尚志

執行役員

瀨本 浩孝	社長 CEO (Chief Executive Officer) 事業本部長
春日 毅	常務執行役員 CCO (Chief Compliance Officer) 内部統制、HSE、人事管掌
中溝 正典	執行役員 CFO (Chief Financial Officer) 経理財務管掌
原田 英典	執行役員 CISO (Chief Information Security Officer) 企画・総務・情報システム管掌 経営企画部長委嘱
大西 航介	執行役員 事業副本部長 (事業開発部・技術統括部管掌) 事業開発部長委嘱
小林 修	執行役員 技術統括部長委嘱
佐藤 智明	執行役員 ハノイ事務所長委嘱

Corporate Information

株主一覧

三井物産株式会社

100%

組織図



Corporate History

1960—

1969年7月
三井グループ17社により設立

1969年10月
三井物産よりインドネシア石油資源開発
(現INPEX) の株を譲受

1970年9月
三井鉱山よりタイ沖鉱区権益を承継

1977年4月
バンコク事務所開設

1974年9月
三井鉱山より北海道鉱区の鉱業権を承継

1978年1月
インドネシアにて原油生産事業に参画

1981年8月
タイ沖にてガス・コンデンセート生産開始

1983年6月
日比谷セントラルビルに移転

1990年2月
タイ沖ガス販売量累計1兆立方フィート達成

1990年4月
東南アジア石油開発を吸収合併

1996年5月
ベトナムにて権益取得

2000—

2002年6月
オマーンにて原油生産事業に参画

2004年1月
タイ陸上にてオペレーター事業開始

2005年8月
タイ沖にて原油生産事業に参画

2010—

2010年3月
米国陸上にてシェールガス事業に参画

2012年6月
タイ陸上オペレーター事業にて
原油生産開始

2012年12月
地熱開発事業に参画
英領北海生産事業参画

2013年6月
イタリアにて原油開発事業に参画

2013年9月
ミャンマーにて権益取得

2015年12月
ブラジルにて権益取得

2016年11月
米国メキシコ湾にて原油開発事業に参画

2017年11月
マレーシアにて権益取得

2018年5月
米国メキシコ湾にて原油生産開始

2018年8月
インドネシア陸上にて権益取得

2020—

2020年2月
イタリアにて原油生産開始

2020年11月
Otemachi One 三井物産ビルに移転

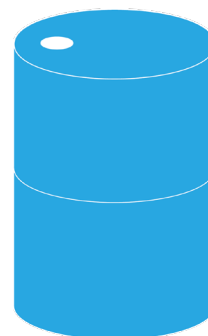
Fact Sheet

財務情報 (連結)

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	145,682	155,454	99,592
経常利益	85,332	60,525	12,655
親会社株主に帰属する当期純利益	36,622	10,737	5,600
1株あたり当期純利益	552円	162円	84円
総資産	541,834	539,172	487,711
純資産	373,818	355,243	338,376

年間平均生産量 (日量)



112,000 BOE/D

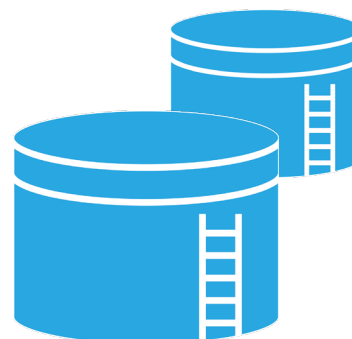
原油・コンデンセート

39,500 B/D

ガス

72,500 BOE/D

埋蔵量 (当社権益分)



139 MMBOE

埋蔵量：当社評価に基づく2P (Proved + Probable)

Mitsui E&P Group

100%
(Investment Ratio(%) to MOECO)

Mitsui & Co.

MOECO

100%

Associated Companies

USA, Australia & New Zealand

60%

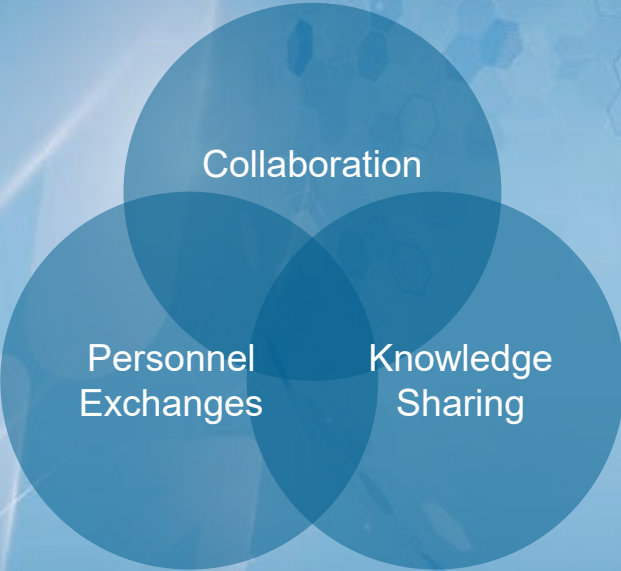
Personnel Exchanges

Knowledge Sharing

40%

Associated Companies

Thailand, Vietnam, Indonesia, Malaysia, Myanmar and Japan



MEPME

Covering Middle East Region

MEPUK

Covering Europe Region

MEPIT

Covering Italy

MEPAR

Covering Argentina

MEPBR

Covering Brazil

MOECO's Base



Head Office

緑の美しい都心のオアシス皇居にほど近い大手町のOtemachi One 三井物産ビルに本社を構えています。事業推進、新規案件発掘に努めるプロフィットセンター部門5部とこれをバックで支えるコーポレート部門5部の計10部約140名が日々汗を流しています。



Bangkok Office

当社初の海外拠点として1977年に開設されたバンコク事務所は、市内中心部の Lumpini公園のすぐ隣に位置する総勢33名の事務所です。

1981年にタイ沖で天然ガスの生産を開始して以降、タイ沖の石油・天然ガス開発・生産事業や陸上オペレーター事業を通じて、タイの産業・経済の発展に貢献して参りました。引き続きタイ国のエネルギー安定供給に貢献すべく、皆で協力して事業に取り組んでいきます。



Hanoi Office

ハノイ事務所は、ハノイの中心街に位置しハノイの人々の憩いの場であるHoan Kiem湖の程近くに所在しています。2008年に開設され、総勢15名にもかかわらず様々なバックグラウンドを持つ従業員が働く多国籍チームです。

ベトロベトナム社およびベトナム政府と共に、国家重要プロジェクトである南西ベトナムへのエネルギー供給を目指し、引き続きベトナム南西沖ガス田開発事業に取り組んでいます。



Jakarta Office

ジャカルタ事務所は2008年に開設、1970年代から取り組んできたインドネシアにおける知見を活かして、現在総勢8名のスタッフでインドネシアおよび周辺国での新規事業獲得および既存事業管理に取り組んでいます。

当社は2018年から2019年にかけてスマトラ島で新たに3鉱区を取得。インドネシア国におけるキープレーヤーおよび同国の更なる発展への貢献を目指して日々成長を続けています。



MOECO's Base



MEPUSA

MEPUSAは2010年に設立され、テキサス州ヒューストンに事務所を開設しています。46名の社員がシェール事業（Marcellus・Eagle Ford）やKaikias事業をはじめとする既存事業の最適な運営管理に努めるとともに、優良な新規案件の獲得に向けて取り組んでいます。



MEPME

2002年に設立されたMEPMEは、2011年にオマーンのマスカットに事務所を開設しました。約30名の社員で既存資産の価値最大化および中東・北アフリカ地域における成長機会の検討に取り組んでいます。



MEPUK

2013年に開設されたMEPUK London officeは市内中心部のSt. Paul大聖堂近くに位置します。8名の社員がE&P業界の中心地のひとつである英国で、欧州およびサブサハラアフリカ地域でのDecarbonizing Businessを含む新規案件の獲得ならびに既存事業の最適な運営管理に取り組んでいます。



MEPIT

2013年のイタリアTempa Rossa油田事業参画を受け、MEPIT Milan Officeはミラノ市中心部に2014年に開設されました。9名の社員がJVパートナーと一丸となって資産価値最大化に取り組んでいます。

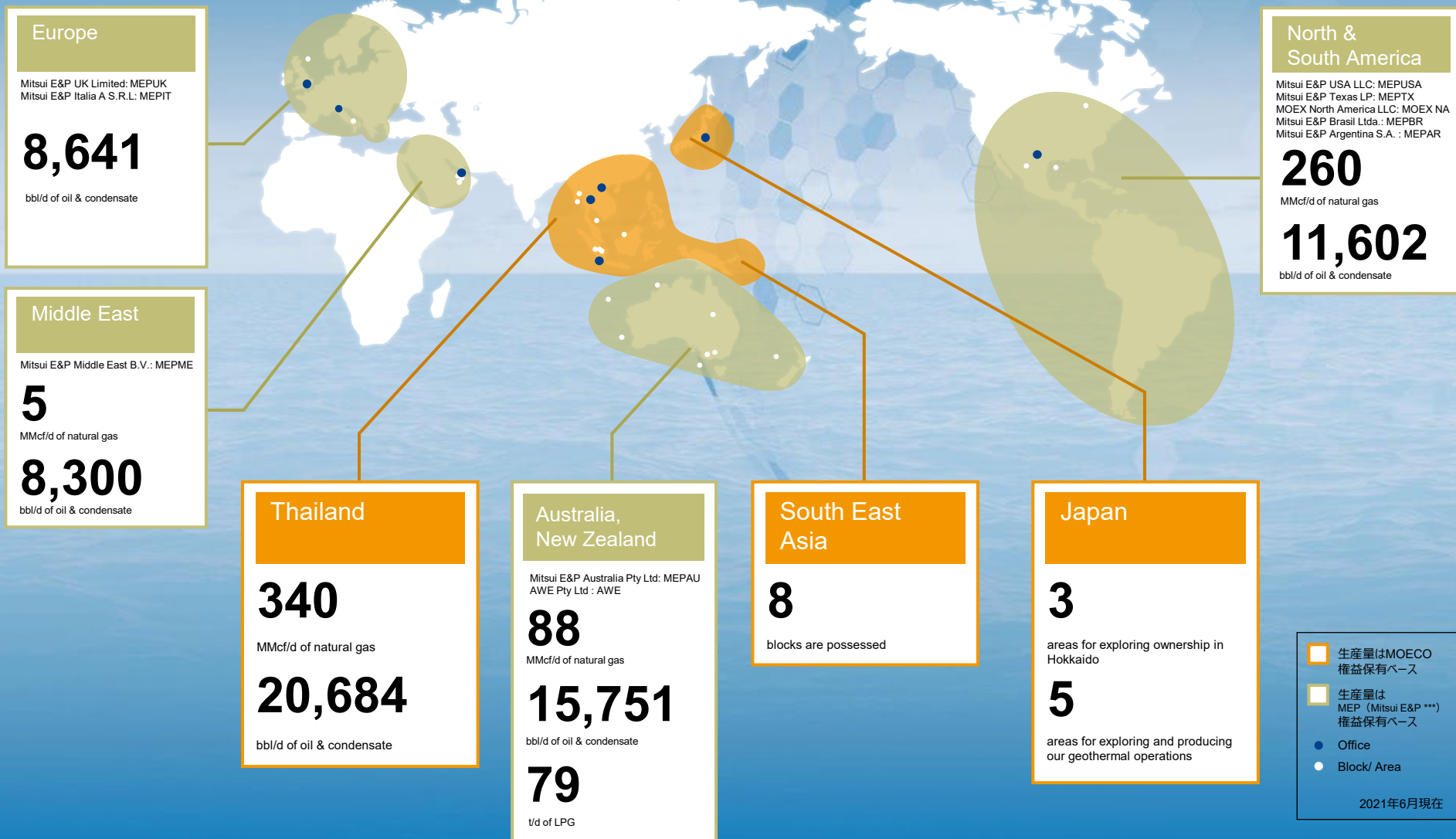


MEPAU

2004年に設立されたMEPAUは西オーストラリアのパー스에本社事務所を設けています。2018年に買収したAWEのスタッフを合わせ、約100名の多様性溢れるメンバーが事務所または操業現場で働いています。



Global Operation Map



Projects

Thailand

Projects

タイ

<タイ沖事業>

会社設立後間もない1972年にBlock 10, 11権益を取得してから約50年に亘って順次事業を拡大し、石油・天然ガスの探鉱、開発、生産を継続しています。現在、当社が鉱区権益を保有する油・ガス田からの持分生産量は日量約7.7万バレル（原油換算）で、タイ国内生産量の約1割に相当します。これらは主にタイ国内の発電・輸送燃料等に利用されます。当社は、石油・天然ガスの開発・供給を通じてタイの産業・経済の発展に貢献するなど、主要E&P企業として高いプレゼンスを築いており、引き続き安定的なエネルギー供給に貢献できるよう、取り組んでまいります。



Southeast Asia

Projects

東南アジア

<ベトナム>

南西部海域に位置するBlock B & 48/95および隣接するBlock 52/97において、相当量の天然ガス・コンデンセートを確認しており、開発に向けた準備作業を行っています。

この事業は天然ガス開発・生産事業、パイプライン事業、ガス発電事業の上流から下流までの作業を一体となって進めていくもので、当社は上流の天然ガス開発・生産事業とともに中流のパイプライン事業にも参画しており、生産開始後は20年以上にわたり、日量数億立方フィートの天然ガスをパイプラインを通じて安定的に発電所に販売する計画です。ベトナムでは、経済成長に伴い将来の電力不足が懸念されています。早期開発、生産開始を実現し、エネルギー供給を通じて同国の経済発展に高く貢献できるよう、当社は外資筆頭として本事業を力強く推進していきます。

<インドネシア>

南スマトラ陸上エリアでの探鉱活動を通じて事業拡張を図るべく、2018年から2019年にかけて、新たに3鉱区を取得しました。このうちSakakemang鉱区では試掘井掘削を通じ一定量のガス胚胎を確認しており、現在早期開発に向けた準備作業を鋭意推進しております。

東南アジアでは、マレーシアでも探鉱事業を展開しています。マレーシアSK405鉱区においては2021年の試掘井掘削を通じ一定量の原油胚胎を確認しており、現在更なる探鉱活動の推進に向けて鋭意作業を行っています。



Projects

USA

Projects 米国

<Gulf of Mexico>

ピーク時の生産量を日量約4万バレル（プロジェクト100%ベース）を見込んだ米国メキシコ湾沖合Kaikias油田では、2018年5月の生産開始から3年間が経過、最大日量は4.7万バレルを上回り、現在も日量約3.8万バレルで原油・ウェットガスを順調に生産しています。

<陸上シェール事業>

ペンシルベニア州でマーセラス・シェールガス事業を、テキサス州でイーグルフォード・シェールオイル/ガス事業を推進しています。2020年の持分生産量はそれぞれ日量約2.2億立方フィート、約1.1万バレル（原油換算）で、順調な生産を継続しています。米国におけるさらなる事業拡大を目指し、新たなチャレンジを含む多様なアプローチで優良資産の獲得を積極的に追求しています。



Middle East

Projects 中東

オマーンBlock 9、27、3&4において石油・天然ガスの探鉱、開発、生産を継続しています。これらの優良資産を土台として、中東・北アフリカ地域内で競争力のあるさらなる資産獲得を追求しています。

Argentina

Projects アルゼンチン

2019年にアルゼンチン沖合のMalvinas盆地にあるMLO-124探鉱鉱区に参画。フロンティア鉱区ながら同盆地の有望性に着目し、将来の埋蔵量に貢献する可能性を追究しています。

Brazil

Projects ブラジル

北東部沖合バヘイリーニャス堆積盆地大水深域に位置する4鉱区は、2006年に発見され開発進んできたブラジル南東部プレサル層と比べてE&P活動が遅れてきたフロンティア鉱区です。2015年から試掘構造抽出のための解釈作業を実施し、将来の埋蔵量に貢献する可能性を追求しています。

United Kingdom

Projects 英国

英領北海では、2019年にBritanniaプロジェクトの権益を売却、Albaプロジェクトにおいては石油の開発、生産を継続しています。また、欧州及びサブサハラアフリカ地域内で、CCS等のDecarbonizing Businessを含め競争力のある新規案件獲得を追求しています。



Italy

Projects イタリア

イタリアTempa Rossa油田は2019年12月に生産を開始し、現在は日量5万バレルのフル生産達成に取り組んでいます。安定的なエネルギー供給を通じてイタリア経済に貢献すると同時に、コスト競争力の強化と事業価値の最大化を追求します。

Australasia

Projects 南洋州

オーストラリア、ニューージーランドおよびインドネシア国内に7の生産プロジェクト、26の探鉱・開発鉱区を保有しE&P事業を展開しています。このうち、2018年5月に会社買収を通じて権益を取得した西豪州陸上Waitsiaガスプロジェクトはオペレーターとして事業推進しています。タイ陸上におけるオペレーター事業を通じて培った知見を始め、三井E&Pグループの総合力を結集して事業価値の最大化に努めます。

Projects

Geothermal

Projects

地熱

E&P事業で培った経験を活かして2012年から北海道および東北地方で複数の地熱事業に取り組んでいます。2019年1月、岩手県松尾八幡平地熱発電所において本格運転を開始しました。本発電所の定格出力は7,499kWで、国内では22年ぶりに出力7,000kWを超える発電所の稼働となりました。

秋田県小安地域では2021年5月、地熱発電所建設へ向けた環境アセスメントに着手しました。2026年の事業化実現を目標としています。

北海道ニセコ地域では2016年度より地熱資源調査を実施、2019年度からは当社がオペレーターとして事業を推進しており、調査井掘削では高温部の存在を確認できました。本地熱地域の地熱資源量評価を着実に進め、早期の事業化を目指します。

地熱は適正利用により半永続的な利用も可能な地球に優しいエネルギーとして期待されており、当社はさらなる調査・開発を通じて地熱発電、また再生可能エネルギーの普及に貢献してまいります。

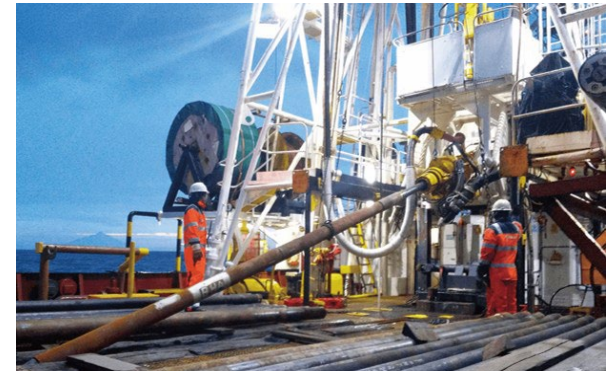


Japan

Projects

日本

北海道天北西方沖では、オペレーターとして長年探鉱作業を実施してまいりました。2016年、2017年、そして2020年に海洋地盤調査を実施し、2021年3月に天北西方沖試掘作業事務所を開設、2021年に試掘作業を予定しています。コロナ禍でのプロジェクトとなりますが、防疫措置を徹底し、安全な操業に努めてまいります。



Voice from MOECO



技術統括部
三上 陽平 入社9年目

仕事紹介

アジア地域を担当しています。既存案件では、当社オペレーター事業であるタイ陸上油田への技術支援を始め、インドネシアやベトナム等の事業において、作業計画の確認やオペレーターとの技術会議での議論を通して事業の推進に貢献しています。また、新規案件の追求および油層・開発分野の技術評価も担当しています。

MOECOとは：

#自由闊達 #少数精鋭 #でも適度に緩め

#積極的な若手ウェルカム

自身：

#Petroleum Engineer #シミュレーションも現場も好き

#夜勤も悪くない #そろそろ海外行きたい

入社のきっかけ、MOECOを選んだ理由、

MOECOに入社した時の思い

まず自社でオペレータープロジェクト（プロジェクトの中心を自社が担う事業）を持つことが出来る技術力があることが第一条件でした（入社してみてもやはりオペレータープロジェクトがあることで技術的知見が蓄積されていくことを実感しました）。そして面接等を通して伝わってきた社員の人柄や考え方が最後の決め手となり、MOECOへの入社を決めました。入社当時は右も左も分からない状態で不安もありましたが、入社日に技術部で開いてもらった歓迎会で、社内の風通しの良さや居心地のいい雰囲気を感じ、不安が無くなったことを覚えています。

最も印象に残っているプロジェクト、苦労話、達成したこと

入社2年目から3年間のアブダビ海上油田操業会社への出向から帰任したのが2017年末、ちょうどその頃タイ陸上油田が生産トラブルで止まり、坑井（地下資源の探査、採取のための小さい井戸のようなもの）の改修作業を検討する段階でした。アブダビでの現場経験を買われてプロジェクトにアサインされ、坑井の生産性やデザインの検討を開始、新しい仕上げを適用することもあり、実際にバンコクやシンガポールの業者を訪ねて議論を重ねました。

現場作業計画の策定も担当させてもらうこととなり、バンコク事務所や東京の技術チームとも何度も協議し、詳細な作業計画を作成、その後東京本社からも技術者を現地に派遣して、2018年末から現場作業に臨みました。現場作業は勿論上手くいくことばかりではありませんが、トラブルにもスピーディに対応し、事前準備の甲斐もあって事故無く作業を完了することができました。その後、無事油の生産を確認したことは、苦労もあつた分大きな達成感がありました。

MOECOで実現させたい夢

現在は当社をより大きく発展させるために、新しい案件の追及に力を入れています。原油価格変動、世界情勢、AI技術の台頭など、世界の石油開発業界を取り巻く環境は大きく変化していますが、その中で発展していくには継続的な案件獲得が必要です。そして、その鍵を握るのは、油の回収率を向上させたり開発コストを削減するなど、自らの力で資産価値を高めることが出来る技術力です。将来に繋がるような有望な案件を獲得して技術力を高め、当社をさらに発展させていきたいと考えています。



三上さんってどんな人？

三上さんのここがいいね！

技術統括部
折戸 雅幸 入社21年目

三上さんは、仕事の上で冷静に物事を理解し、周りにおー鋭い！と思わせる判断や考察が出来る優秀な技術者です。積極的な発信力と周囲への協力的な姿勢から、部内でとても頼られる存在です。一見落ち着いたクールな印象ですが、内に秘めた情熱とのギャップが魅力的なナイスガイです。

Voice from MOECO



人事部
中澤 愛実 入社5年目

仕事紹介

現在、人事部にて新卒・中途の採用業務として学生、候補者の方々への広報活動や当社で活躍できるような研修や教育制度の検討及び給与業務や社員の残業時間や健康状態を管理する労務管理・衛生管理業務を担っております。

MOECOとは：

- # 若手のうちからやりたい事ができる
- # 幅広い経験ができる
- # 一見穏やかな人が多いけれど内なる情熱を秘めた人が多い
- # 皆優しい
- # 新オフィスが楽しみ

自身：

- # 社交的
- # 人事を極めたい
- # 人と関わるのが好き
- # 趣味活動が盛ん（野球好き）
- # 野球観戦日は定時ダッシュでドームへ

入社のきっかけ、MOECOを選んだ理由、MOECOに入社した時の思い

「日本及び世界へのエネルギーの安定供給を通じて、多くの人々に幸せをもたらしたい」これが私の就職活動を行っていた中での一貫した思いでした。留学を通して、他国の経済・社会発展の現状を知ることにつれて、資源が少ないながらも日本は平和で目覚ましい発展をしており、それは日本への資源の安定供給のおかげであるということを実感したからです。エネルギーの安定供給に自ら関わることで日本だけでなく世界の人々の平和で豊かな生活を構築し、人々の生活を根幹から支えたいと考えていました。又、MOECOは社員の距離も近く、一人一人の担当業務も幅広い為、働きやすい環境の中で自分自身が成長できる機会が多数あるとも感じた為でした。

最も印象に残っているプロジェクト、苦労話、達成したこと

Japan ProgramというMEP各事務所（三井物産と共同出資の会社）とMOECO海外事務所の現地スタッフが東京本社に来て日本や三井について学ぶというプロジェクトを三井物産の担当者と共に担当したことです。全4日程のうち、最初2日間は東京本社にて三井の歴史や三井グループの石油・ガス開発プロジェクトについて学ぶ講義をし、最後2日

間には京都で神社仏閣を巡って三井・日本の歴史を学ぶというプランでした。参加者は世界各国からであり、食や生活スタイルも全く異なる中全員がこのプロジェクトを通して三井に入社してよかったと感じてもらえるようなコンテンツを立案するのは下準備も多く苦労しましたが、最終的には参加者全員が三井・日本を好きになったと言ってくれ、最後皆が帰国する際は別れを惜しんで泣いてくれた時はこのプロジェクトの担当ができて良かったと心の底から感じました。今でもこのメンバーで頻りに連絡を取り合っており一生涯に続く仲間ができた事はこの会社でできた素敵な経験です。

MOECOで実現させたい夢

現在の目標は、社員の方々が働きやすく、会社に来たくなるような会社作りに貢献し、その魅力を一人でも多くの学生さんや当社に興味を持っている方々に広めていくことです。昨年までは事業部側で当社及び三井物産（株）にてUKやオマーンのプロジェクト担当をしておりました。そんな中、日々国内・海外の社内外の方と関わる事で当社の魅力を再確認し、人事面からより働きやすい環境を整備したいと感じた為、今後は会社生活が自身の成長や会社への成長に繋がり、楽しみながら仕事ができるような環境を自身が中心となり整備していきたいと思っております。



中澤さんってどんな人？ 中澤さんのここがいいね！

北海道事業部
佐藤 周 入社14年目

地上・地下にあるプロジェクトの多様かつ巨大なリスクに日々立ち向かうのが石油・ガス開発事業の醍醐味。中澤さんは好奇心旺盛に新しい知識を貪欲に吸収し、各種専門家と協力して、一つ一つに丁寧に対応してプロジェクトを円滑に進めるべく努力していました。

Voice from MOECO



北海道事業部
山市 剛 入社7年目

2018年12月から探鉱事業部で北海道事業を担当しています。その中で地質評価作業を行っており、地下のデータを見て石油天然ガスがどこにありそうか担当者間で議論しながら検討しています。国内のデータは産油国に比べて限られていますが、その制約下で自分なりのアイデアを持ち地質評価することは業務の醍醐味です。

MOECOとは：
#ダイナミックな仕事 #フランクな職場 #十人十色な社員

自身：
#自然愛好家 #スポーツ大好き #フットワーク軽め



三井物産（株）出向
井上 大也 入社5年目

ベトナム事業部員としてベトナム南西沖300kmの天然ガス田開発に携わっています。ベトナムとタイの国営石油会社と共に、経済成長著しいベトナムを根底から支える本事業を成功に導くべく取り組んでいます。20%ルール（業務時間の一部を担当業務以外に使える制度）を活用し、地熱事業にも僅かながら関わらせて頂いています。

MOECOとは：
#グローバル #社風の良さ #ワークライフバランス

自身：
#海外出張は成長の機会 #自由
#ベトナム #目指せ海外駐在



技術統括部
上野 真希 入社5年目

2019年5月より、オーストラリアのパーズにてMitsui E&P Australia Pty Ltd（以下MEPAU）に出向しています。様々なデータを用いて地下の状況をPC上で再現し、シミュレーションにより最適な開発計画を検討しています。目下の業務は、ビクトリア州沖のガス田における追加坑井の数や位置の検討です。

MOECOとは：
#穏やかな人が多い #雰囲気が良い
#東南アジアのエキスパート

自身：
#海外好き #スポーツも好き #内向型 #コツコツ努力型
#MOECO初の女性Reservoir Engineer
#常に夢中になれることを模索中



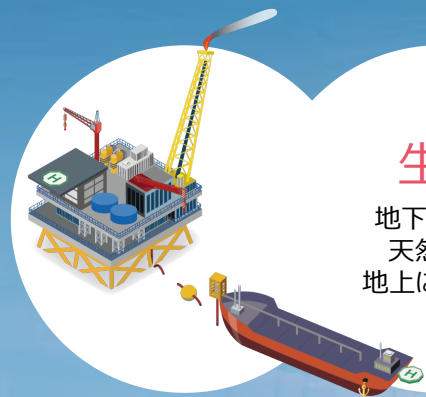
Mitsui E&P USA LLC出向
豊北 真也 入社4年目

探鉱・生産段階の事業会社の会計・税務業務に従事しています。石油・ガス開発事業（E&P）ではプロジェクト毎に事業会社を設立する事例も多く、各事業会社ごとに必要な会計・税務業務も異なります。それらを正確に理解して、適時に対応することで、企業グループ全体の経営指標の作成及び各事業の円滑な運営に貢献しています。

MOECOとは：
#アジアでの探鉱事業に大きな期待 #潤沢な現預金
#新卒入社若手社員の定着率が非常に高い
#若手のうちから海外現場を経験 #活発なクラブ活動

自身：
#税務のプロになりたい #地球科学が好き

ABCs of E&P Business



生産

地下の石油・
天然ガスを
地上に取り出す

権益取得

石油・天然ガスを
探するための
権益を取得する

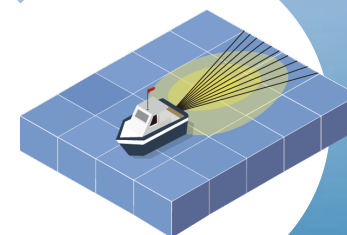


開発

生産に向けた
準備をする

探鉱

地下の石油・
天然ガスを
探す



Address

MITSUI OIL EXPLORATION CO., LTD.

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1

Otemachi One 三井物産ビル 14階

TEL : +81-3-5208-5717

FAX : +81-3-5208-5718

Bangkok Office

28F, Q House Lumpini Bldg., 1 South Sathorn Road

Tungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL : +66-2-677-7520

FAX : +66-2-677-7527

Jakarta Office

Menara BCA 51st Floor, Grand Indonesia, Jl. M. H. Thamrin No.1,

Jakarta 10310 Indonesia

TEL : +62-21-2358-6180

FAX : +62-21-2358-6183

Hanoi Office

Suite 1001, 10th Floor, Hanoi Central Ofce Building, 44B Ly

Thuong Kiet Street, Hanoi, Vietnam

TEL : +84-24-3936-9095/ 9096

FAX : +84-24-3936-9097

MITSUI E&P MIDDLE EAST B.V.

Level 5 Bait Al Reem, Thaqafa Street, Ministries District, P.O.Box

3014, Muscat, Sultanate of Oman

TEL : +968-24403601

FAX : +968-24403609

MITSUI E&P USA LLC

1300 Post Oak Blvd., Suite 1800, Houston, Texas 77056, USA

TEL : +1-713-960-0023

FAX : +1-713-960-0247

MITSUI E&P UK LIMITED

8th & 9th Floor, 1 St Martin's Le Grand, London, EC1A 4AS,
United Kingdom

TEL : +44-20-7822-0321

FAX : +44-20-7796-2549

MITSUI E&P ITALIA A S.R.L

2 Piazza del Liberty, 20121 Milan, Italy

TEL : +39-02-622-3220

FAX : +39-02-7602-1580

MITSUI E&P AUSTRALIA PTY LTD AWE PTY LTD

Level 22, Exchange Tower, 2 The Esplanade, Perth, WA 6000,
Australia

TEL : +61 8 6364 4777

FAX : +61 8 6364 4778